

愛媛県特定希少野生動植物 ヌمامツ保護管理事業計画

I 計画の基本方針

ヌمامツ *Candidia sieboldii* は、全長 10-15cm のコイ科の淡水魚で県下に広く分布するカワムツに似るが、腹鰭が朱色を帯び、側線鱗数や臀鰭条数等に差異があることで区別できる。カワムツよりも止水域を好み、頭部がやや尖ること、腹鰭が朱色味を帯びること、側線鱗数が多いこと、臀鰭条数が少ないことで識別される。この条例指定種は生息地が局所的であり、生育基盤も脆弱であることから、生息に必要な環境条件の維持・改善や、生息を圧迫する要因の軽減・除去等、生息環境を地域の特性に応じて一体的に保全することを目標に、個体数の維持又は繁殖等の人為的保護増殖、個体の生息環境等の整備等を実施する保護管理事業が適正かつ効果的に実施されることを本保護管理事業計画の基本方針とする。

II 生息地の状況と存続を脅かす要因

県下では東予地域の 2 河川で確認されているのみ。両河川共に河川延長 5km 未満の小河川で、河川に形成される小規模な淵を主な生息地としている。生息水面面積は最大で 0.01km² 以下（両河川計）と推定される。2 河川のうち、1 河川では 2013 年以降、生息個体が確認されていない。

両河川共に人工構造物により流域が細かく分断されており、護岸工事等の流域開発も継続していることから生息環境が脆弱かつ不安定で、確認できる個体群規模に変動が激しい。また、両河川共に特定外来生物のオオクチバスが周辺ため池から流入しており、捕食による影響も懸念される。

III 保護管理事業

1 目標及び推進内容

本種の保全のためには、生息河川における安定的な生息環境の確保が必要であるが、生息河川は小規模な河川であることから大規模な増水や河川改修が行われた場合、河川環境が大きく変化し、残存個体群に不可逆的なダメージを与える可能性があることを鑑みて、推進内容には代替地の確保や域外保全も視野に入れた調査及び技術開発も併せて対策を講じるものとする。

目標「ヌمامツが生息する河川における安定的な生息環境の確保」

推進内容

- ・生息の可能性のある水域を中心とした生息実態調査
- ・生息河川等における生息環境創出
- ・普及啓発活動

2 事業の区域

事業の区域は愛媛県内で本種が生息する区域とする。また、新たな生息が確認された場合は、生息状況等の調査を行い、事業の区域に含めるものとする。

3 事業の推進内容

(1) 生息の可能性がある水域を中心とした生息実態調査

近縁種であるカワムツと外見が酷似しており、現在確認されている河川以外にも近隣のため池等を含む淡水域に生息している可能性がある。東予地域を中心に生息実態を把握するための現地調査等を実施する。

(2) 生息河川等における生息環境創出

生息河川は小規模であることから、河川改修等の影響により生息環境が分断される可能性が高い。本種の生息が確認されている河川では工事期間中においても本種の密度低下が生じないように配慮する。また、安定的な生息環境を創出することにより本種の保全を図る。

(3) 普及啓発活動

本種の保護を効果的に行うために、学校教育や社会教育等の場面において環境教育を推進し、県民等の理解を広め、保護に対する自覚を高めるための普及啓発活動を行う。

4 事業の推進体制

本種の保全においては、県及び市町、河川管理者、民間団体、動物園、大学等の研究機関等の多様な主体が参画し、保護管理事業を推進するものとする。

IV その他

この計画に定めのない項目については、別途協議を行うものとする。